



▼ (左) おもちも用意 (右) 会話も弾んでいます



▲ (左) 笑顔がたくさん (右) フェイスペイントも!

昨年は転入者として、今年の実行委員として
 参加した久保田さん



東京へ通勤しながらの準備作業は大変でしたが、自分の意見も取り入れてもらい、達成感がありました。参加された皆さん、守谷は緑と同様に人間性も豊かな方が多い、魅力的なまちです。末永く、住み続けてください!!

子どもだって楽しめる

家族連れでの参加が多いこのイベントでは、子どもが楽しめる仕掛けもあります。この日は、積み木やおりがみ、フェイスペイント、パソコンのプログラミング教室、ザリガニ釣りまで、もはや体育館の中とは思えない充実ぶりでした。

会話の機会を増やす

今回は、参加者同士がなるべく多く話せるよう、住んでいる地域ごとに簡単なワークショップを行っていました。そのせいもあってか、イベント終了後にも、テーブルでおしゃべりを楽しむ参加者を多く見かけました。

守谷の情報がたくさん

会場内には、市内で活動するサークルや団体がブースを出展していました。どのブースも参加者を楽しませようと趣向を凝らしていて、スタッフは、参加者との東の間の交流を楽しんでいました。

また、昔の守谷の写真など、守谷に関するさまざま

な情報がパネルで展示されていました。守谷歴の浅い参加者が多いこともあってか、パネルをじっと見つめる姿をあちこちで見かけました。

主役は「市民」

「ようこそ守谷へ」のごいところは、先輩市民からなる実行委員会によって運営されているところ。行政も一緒に携わりますが、主役はあくまで「市民」。

おもてなしを受ける側も、おもてなしをする側も、同じ守谷市民だからこそ生まれる出会いがあります。それがこのイベントの大きな魅力になっています。今年も、どんな人が守谷にやってきて、どんな出会いが生まれるのか? 次の「ようこそ守谷へ」が楽しみですね。



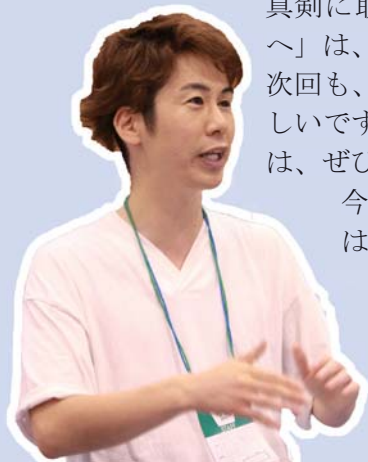
▲ いい出会いがありましたか?

実行委員長のお話をお聞きしました

今回は、市民同士の会話をなるべく多くしたいと思っていました。新しい試みとしてワークショップを行い、守谷について話し合ってもらいました。その結果、参加者同士が話している時間は、今まで一番多かったです。「友だちづくり」がねらいだったので、それが達成できたと思いますし、すごく嬉しかったですね。

このイベントは、実行委員にとっても、地域とつながるいい機会になりますし、皆さん、楽しみながら、真剣に取り組んでいます。「ようこそ守谷へ」は、マンパワーも必要なイベントです。次回も、多くの方にご協力いただけたら嬉しいです。特に新しく守谷にきた方たちには、ぜひ参加してほしいですね。

今回おもてなしを受けた方が、次回はおもてなしする側にまわる。そんなふうに、このイベントが続いていくといいですね。



参加者にも感想をお聞きしました

栃木から引っ越してきました。守谷市は、住みやすいまちだなと感じています。今日のイベントも、とても楽しかったです。友人に「こういうイベントが守谷にはあるんだよ」と話したところ、「え、それ、すごい!」と言われました。皆さんに歓迎されているという感じがすごく伝わってきましたね。いろいろな人とお話ができたし、友だちもできて、いいイベントだと思います。



つげかき 告坂さんファミリー

「ご存じですか 盲ろう者
向け通訳介助員派遣事業」

茨城県立聴覚障害者福祉センターやすらぎでは、目と耳に障害を持つている盲ろう者の方への派遣事業を行っています。

光と音が失われた状態で生活している盲ろう者は、見ること・聴くことができせん。このため、安全な移動が困難だったり、周囲の人とのコミュニケーションがとりにくく、自ら情報を得るのが難しいことがあります。

皆さんのご近所や、お知り合いに、このような方はいらっしゃいませんか？

現在お困りの方、ご相談いただければ、通訳・介助の派遣利用ができる場合もありますので、ご連絡・ご相談をお待ちしています。



▼問合先 茨城県立聴覚障害者福祉センターやすらぎ

☎ 029・248・0029
FAX 029・247・1369

ARCUS

Residency for Artists, Experiments for Locals, Moriya, Ibaraki

現在のアート・芸術文化を守谷から。

- 問合先 アークススタジオ (もりや学びの里内)
日・月曜日休館 ☎ 46-2600 (10:00～18:00)
✉ arcus@arcus-project.com
◎詳細な情報はアークスプロジェクトで検索!

アーティスト・イン・レジデンスプログラムの招へいアーティストの審査で慌ただしいアークススタジオ。今年も、3組の枠に世界中から応募が殺到し、85か国・地域より過去最多の717件の応募がありました。これほど多数のアーティストが守谷のアークスプロジェクトでの制作を望んでいることが大変誇らしいです。アーティストは8月に来日します。今年度もどうぞご期待ください。

◎過去招へいアーティストの活躍

シャロン・ロックハート (1996年招へい・米国出身) が、第57回ヴェネツィア・ビエンナーレに参加します (11月26日(日)まで開催)。同じエンナーレは、1895年より2年に1度開催されており、世界で最も権威ある現代美術の国際展覧会のひとつです。

ロックハートは1996年当時、御所ヶ丘中学校の体育館で目撃したバスケットボール部の練習風景と体育館の空間構成に着想を得て、映像を撮影しました。フランクフルトバレエ団のステイブン・ギャロウエイ氏に振付けを依頼し、25名の女子バスケットボール部員が出演。《Cosmogonka》という映像作品として完成させました。その作品は、その後、世界各地で多数上映されています。



▲ Sharon Lockhart

7月2日(日)

ふるさ都市もりや朝市

毎月第1日曜日に開催している、恒例の朝市です。

地元の野菜や特産品販売・市民によるフリーマーケット・ハンドメイド品販売、月替わりのプチイベント (7月は「やってみよう! ワークショップ」) も開催します。ご家族やお友達と一緒に駅前で楽しい時間をお過ごしください。

フリーマーケットの出店者も募集しています。

- 日時 7月2日(日) 10:00～14:00
- 場所 守谷駅西口駅前広場
※小雨決行
- 問合先 駅前イベント実行委員会
石澤 ☎ 090-3148-5370

